

平成29年度地方創生ストリートミーティング【関西若者編】  
意見と回答・対応方針

No.	ご意見・ご要望	各課回答・対応方針	担当課
1	鳥取に戻ったら、奨学金の返済を補助してもらいたい。	県の助成金制度は、全国的にも手厚い内容となっており、先ずはこの制度のPRをしっかりと行いながら、学生のニーズを捉え、新たな助成制度について検討してまいります。	政策企画課
2	県外にいと、鳥取の情報が入ってこない。鳥取の観光や子育てのしやすさなど、もっとSNSなどを活用して情報発信してほしい。	現在、市公式ホームページや「とっとり知らせ隊」のフェイスブック、関西情報発信拠点「麒麟のまち」の専用アプリなどを通じ、観光情報や移住定住情報などを発信しています。また、平成28年度からは、本市のワーキングホリデー「すごい！鳥取市ワーホリ」で、市内在住の協力者（鳥取ブラザー&シスター）のSNSを通じた情報発信も行っています。今後、専門の庁内プロジェクトチームを編成し、よりSNSを活用した効果的な情報発信について取り組んでまいります。	広報室
3	若者が魅力を感じるまちづくりをしてほしい。例えば音楽フェスとか考えられないか。	本市では、とっとり若者地方創生会議や地方創生ストリートミーティング、青年会議所などとの意見交換会を積極的に行い、若者の意見を反映させたまちづくりを推進しています。音楽フェスについては、市主催での開催は困難と考えますが、このようなイベントを主体的に取り組む団体に対し、既存の助成制度を積極的にアピールし、開催を促進していきたいと考えます。	政策企画課

○その他意見

- ・移住定住はUターンの方が帰りやすいし、住みやすいと思う。
- ・観光に関して、自分は自転車のツーリングサークルに入っている。移動のとき自転車を分解して運んだりする。都会での移動は大変だが、鳥取は運びやすい。
- ・鳥取の自然が好き。Uターンするつもり。